作成日　2011/12/08
改訂日　2014/06/09

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	オーベスト箱粒剤
会社名	OATアグリオ株式会社
住所	東京都千代田区神田小川町1-3-1　NBF小川町ビルディング8階
担当部署	品質保証部
電話番号	088-684-0220
FAX番号	088-686-7055
緊急連絡電話番号	03-5283-0262(事業推進部)
整理番号	OAT0269-3

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性
急性毒性(経口) 区分4
急性毒性(経皮) 区分外
皮膚腐食性／刺激性 区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分外
皮膚感作性 区分外
発がん性 区分1
特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分1(呼吸器系)

特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分2(神経系)

特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分1(呼吸器系 腎臓)

環境に対する有害性
水生環境有害性(急性) 区分1
水生環境有害性(慢性) 区分1
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素
絵表示

注意喚起語　危険

危険有害性情報
H302　飲み込むと有害
H350　発がんのおそれ
H370　呼吸器系の障害
H371　神経系の障害のおそれ
H372　長期又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害
H400　水生生物に強い毒性
H410　長期的影響により水生生物に強い毒性

注意書き
安全対策
使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
環境への放出を避けること。(P273)

指定された個人用保護具を使用すること。(P281)

応急措置　飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P301+P312)
ばく露した場合、医師に連絡すること。(P307+P311)

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
ばく露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P309+P311)
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
漏出物は回収すること。(P391)

保管　施錠して保管すること。(P405)

廃棄　内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　混合物

一般名　ベンフラカルブ／クロラントラニリプロール粒剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS番号
		化審法	安衛法	
ベンフラカルブ	5%	(5)-5639	8-(4)-928	82560-54-1
クロラントラニリプロール	0.75%	-	-	500008-45-7
シリカ(結晶質)	89%	(1)-548	(1)-548	14808-60-7
鉱物質微粉等	残分	-	-	-

4. 応急措置

吸入した場合　被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　気分が悪い時は、医師に連絡すること。
水と石鹸で洗うこと。

目に入った場合　眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
水で数分間注意深く洗うこと。

飲み込んだ場合　口をすすぐこと。
コップ1～2杯の水を飲ませ、胃中のものを吐き出させる。意識のない場合には口から何も与えてはならない。
医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤　散水、噴霧水、泡消火剤
粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂
この製品自体は、燃焼しない。
周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤　棒状注水

特有の危険有害性　火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
激しく加熱すると燃焼する。

	粉じん又は煙霧は空気と爆発性混合気を形成するおそれがある。 特に密閉環境（建物、荷物用倉庫等）では極めて危険な爆発のおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 容器内に水を入れてはいけない。 金属火災には水ではなく、密閉法、窒息法消火が望ましい。 消火が不可能なら、周辺を防護してそのまま無くなるまで燃焼させる。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 火災が発生した場合には、到着した消防署員や警察官に本品があることを知らせる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 風上に留まる。 作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 低地から離れる。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収・中和	粉じんがたたないように注意して、漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化方法・機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 容器内に水を入れてはいけない。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	局所排気・全体換気	情報なし。
	安全取扱い注意事項	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 排気用の換気を行うこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。

保管

	技術的対策	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。
	保管条件	特に技術的対策は必要としない。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。－禁煙。 酸化剤から離して保管する。 冷所、換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉して保管すること。
	容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

	管理濃度 （厚生労働省）	許容濃度 （産衛学会）	ACGIH
ベンフラカルブ	－	－	－
クロラントラニリプロール	－	－	－
シリカ（石英）	0.03 mg/m3（遊離珪酸含有率89%の鉱物の粉塵として）	吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m3	石英 TWA 0.025mg/m3 (R), STEL －

設備対策		屋内で使用する場合には、作業場を換気する。
保護具	呼吸器の保護具	必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。
	手の保護具	必要に応じて個人用保護手袋を使用すること。
	眼の保護具	必要に応じて個人用の眼の保護具を使用すること。
	皮膚及び身体の保護具	必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。
衛生対策		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	粒状固体
	色	類白色
	pH	9.4
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
自然発火温度		データなし
比重（密度）		0.99

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管条件では安定。
危険有害反応可能性	知見なし。
避けるべき条件	危険な反応の原因となる条件は知られていない。
混触危険物質	危険な反応の原因となる化学物質は知られていない。
危険有害な分解生成物	火災時には、有毒な二酸化硫黄や一酸化炭素および毒性を有する蒸気が発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性		経口 LD50 ラット♀ ＞300 － ＜2000 mg/kg
		経皮 LD50 ラット♂♀ ＞2000 mg/kg
皮膚刺激性		刺激性なし（ウサギ）
眼刺激性		軽微な刺激性（ウサギ）
皮膚感作性		皮膚感作性なし（Buehler法、モルモット）
発がん性		区分1Aに分類されるシリカ（石英）をカットオフ値以上含有するため区分1とした。
特定標的臓器毒性（単回暴露）		区分1（呼吸器）に分類されるシリカ（石英）をカットオフ値以上含有することから区分1（呼吸器）とした。区分1（神経系）に分類されるベンフラカルブを区分2のカットオフ値範囲で含有するため区分2（神経系）とした。
特定標的臓器毒性（反復暴露）		区分1（呼吸器系、腎臓）に分類されるシリカ（石英）をカットオフ値以上含有するため区分1（呼吸器系、腎臓）とした。

12. 環境影響情報

	環境に対する有害性	
	水生環境有害性（急性）	LC50（96hr） コイ 35.3 mg/L EC50（48hr） オオミジンコ 0.0682 mg/L ErC50（72hr） 緑藻 ＞1000 mg/L
	水生環境有害性（慢性）	区分1に分類される成分の含有量およびそれらの毒性値から区分1とした。
生態毒性		データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	本品を直接排水や河川等に廃棄してはならない。 焼却処理を行う場合には、アフターバーナーおよびスクラバーを具備した焼却炉で少量ずつ焼却する。 大量に廃棄する場合には、製造業者に連絡する。 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。 （地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する。）

14. 輸送上の注意

国際規制		
	国連分類	未評価
	国連番号	未評価
	海洋汚染物質	未評価
国内規制		該当しない

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第23031号
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） 2，2－ジメチル－2，3－ジヒドロ－1－ベンゾフラン－7－イル＝N－[N－（2－エトキシカルボニルエチル）－N－イソプロピルスルフェナモイル]－N－メチルカルバマート（別名ベンフラカルブ） 政令番号：221
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）

シリカ　政令番号:312

16. その他の情報

参考文献

MSDSnavi（日本ケミカルデータベース株式会社、2011）

連絡先

製品に関する問い合わせ先:コールセンター0120-210-928
中毒に関する緊急問い合わせ先:公益財団法人　日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話 （情報提供料:無料）	医療機関専用有料電話 （情報提供料:2000円/件）
大阪 （365日、24時間対応）	072-727-2499	072-726-9923
つくば （365日、9-21時対応）	029-852-9999	029-851-9999

その他

安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考情報として、当該製品を取り扱う事業者に提供されるものであって、安全を保障するものではありません。

また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証するものではありません。

この安全データシートは一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。

また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。

従いまして、当該製品を取り扱う事業者は、個々の取扱等の実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いします。